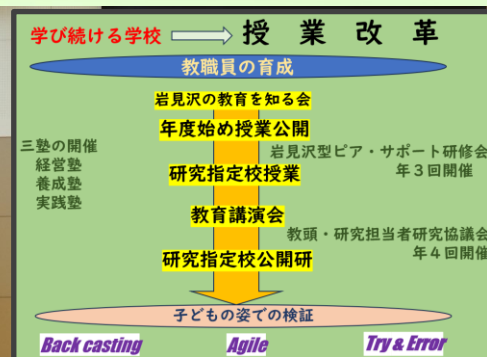


教育研究所

令和七年度要覧



「子どもが煌めく」教育の実現



岩見沢市立教育研究所

〒068-0835
岩見沢市緑が丘2丁目34番地1
(北海道教育大学岩見沢校キャンパス内)
Tel 0126-22-4412
Fax 0126-22-5317
教育研究所ブログ <https://ie-labo.jpn.org>



「煌めく子ども」とは

- 困難や失敗を恐れず、前向きに行動しようとする子
- 他者を思いやり、仲間と共に歩もうとする子
- 自己の心と体に関心を持ち、生きる喜びを実感できる子
- ふるさとを愛し、地域社会に貢献できる子

運営テーマ

「子どもが煌めく教育」の推進
「学び続ける学校」づくりへの支援

運営方針

- ①岩見沢市が進める教育実現に向けてのコンサルティング活動の推進
- ②岩見沢市が進める教育の実践検証の推進
- ③岩見沢市が進める教育を実現できる教員の養成
- ④岩見沢市が進める教育の発信

当面する5つの重点推進事項

- ①新教育課程編成・実施に向けた各学校への支援
- ②今日的な教育課題解決に向けた授業改善への実践的研究
 - ・「教科等」研究部会
 - ・「道徳科」研究部会
 - ・「外国語科」研究部会
 - ・「情報教育」研究部会
 - ・「岩見沢型P・S」研究特別部会
- ③三塾の充実
 - 経営塾 養成塾 実践塾
- ④コミュニティ・エリアへの支援
- ⑤研究・研修のICT化の推進

教育研究所の役割

- 「煌めく子ども」の実現に向けて学校への支援
- 「煌めく子ども」育成に向けての調査・研究
 - ・目指す学校像に向けての情報提供
 - ・目指す授業像の研究・提示
 - ・目指す教師像に向けての研修提供と養成
 - ・教育活動に対するエビデンスある評価活動の推進

I 調査

- ◎今日的な教育課題に係る調査
- ・教育行政方針推進に係る調査・実態把握
 - ・全国学力・学習状況調査の分析
 - ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の分析
 - ・デジタル社会科副読本の活用
 - ・新教育課程編成・実施に向けた調査・研究

II 研究

- ◎今日的な教育課題の解決を図る研究・指定校事業の推進
- 「教科等」研究
 - 「道徳科」研究
 - 「外国語科」研究
 - 「情報教育」研究
 - ★研究特別部会「岩見沢型ピア・サポート」
 - *研究指定校

III 養成

- ◎教職員の資質能力向上のための、キャリアに応じた養成講座の開催
- 養成講座（キャリアステージでの力の発揮）
 - ・経営塾 ・養成塾 ・実践塾
 - 職能向上講座
 - ・養護教諭 ・事務職員 ・若手教員 等
 - 研究担当者養成
 - 教頭・研究担当者研究協議会（4回）

IV 研修

- ◎教職員の専門的力量向上のための研修講座の開催
- ・I 「岩見沢の教育を知る」研修講座
 - ・II 特別支援教育研修講座
 - ・III 特別支援教育支援員研修講座
 - ・IV 事務職員研修講座
 - ・V 「食物アレルギー」研修講座
 - ・VI 「救急・救命」講習会
 - ・VII ICT活用に関する研修講座Ⅰ
 - ・VIII D-いわみざわ授業活用研修会
 - ・IX 不登校対策研修会
 - ・X 教育講演会
 - ・XI ICT活用に関する研修講座Ⅱ

V 連携

- ◎北海道教育研究所連盟との連携
- ・道研連研究大会への参加
- ◎教育大学岩見沢校との連携
- ・出前授業、研修講座への講師協力
- ◎施設開放・運営
- ・研究団体、大学、地域連携型教育への開放

VI 普及

- ◎情報の発信
- ・所報「ie-Labo」年2回紙面配布
年3回ブログ配布
 - ・教育情報の提供 ・ブログ発信
 - ・研究・研修のICT化
- ◎教科書センター機能
- ・教科書の展示

「煌めく子ども」とは

- 困難や失敗を恐れず、前向きに行動しようとする子
- 他者を思いやり、仲間と共に歩もうとする子
- 自己の心と体に関心を持ち、生きる喜びを実感できる子
- ふるさとを愛し、地域社会に貢献できる子

令和7年度「学校教育の推進」から

- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、教師主導から学習者主体による授業の転換を図る
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立って、身に付ける資質・能力を明確にし、教師は子どもとの対話を通して、「教える」べきことを教え、「考えさせる」べきことを考えさせる授業を展開
- 授業時数特例校制度の活用等や学校として統一性・一貫性のある校内研修の推進と活性化を図る中で、教職員1人1人の当事者意識をより一層醸成し、カリキュラム・マネジメントに基づいた、特色ある教育課程の工夫・改善を行い、「学校づくり＝授業づくり」という観点のもと、「学び続ける学校」への組織的な改善
- 各種調査等による検証と対策の徹底やコミュニティ・エリアにおける義務教育9カ年を見通した組織的な学力向上、並びによりよい学習集団づくりにつながる「岩見沢型ピア・サポート」の推進
- GIGAスクール構想による1人1台端末を効果的に活用した授業づくりやデジタル教材等を活用した授業実践と基礎学力の定着、及び家庭での学習習慣の醸成に向けた取組を推進
- 「英語が使える岩見沢の子ども」の育成に向けて、外国語指導助手（ALT）の有効活用はもちろんのこと、土曜キッズ英会話やAIを活用した英語学習などを行い、外国語教育の充実
- 郷土資料や副読本等を活用し、子どもたちが岩見沢の人・歴史・文化・自然・産業などを学ぶことにより、郷土に愛着と誇りを持てるよう「ふるさと教育」を推進
- 道徳教育の充実を図り、命を大切にする心、他人を思いやる心など、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる「心の教育」を推進

学習者主体による授業づくり

Ⅱ 研究

「教科等」研究部会

- ◎ 子どもとの対話を通した「教える」「考えさせる」授業の構築
- ◇めざす授業像
 - ①主体的・対話的で深い学びの実現
 - ②子どもが主体となる指導過程
 - ・身に付けさせる資質・能力の明確化
 - ・子どもとの対話の重視
 - ・「教える」べきことを教え「考えさせる」べきことを考えさせる授業展開
 - ③子どもが主体となる教師の意図的な関わり
 - ・ICT等を活用できる学習スキルと学習ルール
 - ・子どもファーストの学習規律
 - ④子どもの振り返りによる評価
 - ・メタ認知を高める評価

A指定校 南小学校 光陵中学校
B協力校 日の出小学校 志文小学校 明成中学校

「道徳科」研究部会

- ◎郷土に愛着と誇りをもち、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳教育の実現
- ◇めざす授業像
 - ①多様な価値観を知り葛藤しながら考える授業
 - ②ふるさとのよさを基盤に生き方を考える授業
 - ③命の大切さを実感できる授業
- ◇授業改善の視点
 - ・道徳的事象を自分事としてとらえられる工夫
 - ・多様な考えの交流
 - ・交流、葛藤を通した自己の確立

A指定校 東小学校 岩見沢小学校 東光中学校
B指定校 幌向小学校 豊中学校

「岩見沢型ピア・サポート」研究特別部会

学習意欲
コミュニケーション力
自己有用感
学びの社会性

「外国語科」研究部会

- ◎外国や外国語への関心高め積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図る授業の構築
- ◇めざす授業像
 - ①外国の文化や慣習への興味・関心が高まる授業
 - ②外国語の学習を通して自国文化の関心や理解が高まる授業
 - ③外国の方々と積極的にコミュニケーションを図ることができる授業
- ◇授業改善の視点
 - ・外国の文化や外国語への関心が高まる場の設定
 - ・相手意識や目的意識をもった必然性ある「言語活動」の在り方
 - ・小中の連携による系統的で積み上げができる計画等の在り方
 - ・AIを活用した授業の創造

A指定校 くりさわ学舎
B指定校 北村小学校 北村中学校

「情報教育」研究部会

- ◎ICTの積極的な活用を通して情報活用能力の伸長を図る授業の推進
- ◇めざす授業像
 - ①情報活用能力の視点を明確にしたICTの活用
 - ②生成AIの教育的活用
 - ③AIドリル等を活用した基礎学力を身に付ける学びの実現
 - ④遠隔等、不可能を可能にする学びの実現
- ◇授業改善の視点
 - ・ICTの効果的な活用
 - ・ICTネットワークを活用した広域かつ専門的な学び
 - ・ICT活用を通した情報モラル等の学習
 - ・生成AI活用による創造的な学びの実現
 - ・AIドリル等を活用した基礎学力の定着
- ◇ICTの利活用を通した学び続ける教師・学校の実現
 - ・ICT活用研修の実施

A指定 第二小学校 上幌向中学校
B指定 第一小学校 北真小学校 緑中学校

教育研究所の組織

所 長

運営委員会

専任所員

所員・研究員・専門員

「岩見沢型」ピア・サポート
研究特別部会

「情報教育」研究部会

「外国語科」研究部会

「道徳科」研究部会

「教科等」研究部会

教育研究所の主なあゆみ

昭和25（1950）年度
開所式挙行 初代所長 木村誠教氏就任
昭和30（1955）年度
施設を旧市民会館内に移設
昭和31（1956）年度
教科書センター設置
昭和33（1958）年度
教育相談室開設
平成6（1994）年度
学校適応指導教室開設
平成10（1998）年度
テレビ会議システム導入
平成12（2000）年度
衛星利用遠隔学習「ひあねっと岩見沢」開始
平成19（2007）年度
現研究所施設完成
令和2（2020）年度
タブレット導入、WebexBoard
（オンライン会議システム）の導入
令和3（2021）年度
ハイブリッド型研修の導入
令和5（2023）年度
デジタル社会科副読本「いわみざわ」の発行

研修講座一覧

4月	14日 月	異動者対象授業公開～28日
4月	21日 月	「岩見沢の教育を知る」研修講座
4月	25日 金	教頭・研究担当者研究協議会①
5月	29日 木	特別支援教育研修講座
6月	19日 木	特別支援教育支援員研修講座
7月	15日 火	事務職員研修講座
7月	28日 月	教頭・研究担当者研究協議会②
8月	4日 金	ICT活用に関する研修講座Ⅰ
8月	5日 火	不登校対策研修会
8月	6日 水	「食物アレルギー」研修講座
8月	7日 木	「救急・救命」講習会①
8月	8日 金	「救急・救命」講習会②
9月	12日 金	教育講演会
10月	30日 木	D-いわみざわ授業活用研修会
11月	12日 水	教頭・研究担当者研究協議会③
1月	9日 金	ICT活用に関する研修講座Ⅱ
1月	14日 水	教頭・研究担当者研究協議会④

岩見沢型ピア・サポート研修講座

5月	13日 火	第1期ピア・サポート研修
5月	14日 水	
5月	15日 木	

7月	29日 火	第2期ピア・サポート研修
7月	30日 水	
7月	31日 木	
8月	1日 金	

1月	6日 火	第3期ピア・サポート研修
1月	7日 水	
1月	8日 木	

※市教育委員会主催

2月	19日 木	令和7年度事業報告会
----	-------	------------